



SEIKA TOWN ASSEMBLY PRESS

せいか

人、自然、
科学を結ぶ
学研都市精華町

No.139

2013年2月1日発行

12月定例会

議会だより



いごもり祭 (祝園神社)

本会議の質疑	2ページ
議案のあらましと表決結果	5ページ
常任委員会報告	6ページ
一般質問/15人	8ページ
議会報告会	16ページ

広報アンケートの結果報告	19ページ
委員会活動など	20ページ
その後を追う「空き家管理など」	22ページ
街をつくる人「乾谷らくらくサロン」	23ページ
ギャラリー華/精華西中	24ページ

決議を画

12月定例会

本会議

本定例会の特徴

本定例会は12月5日から21日までの17日間開催されました。町提出議案は人事2件、補正予算3件、総合計画・条例一部改正・契約・指定管理者の指定が各1件、計9件であり、いずれも慎重な審議の上、全員一致で可決しました。なお、指定管理の指定については、付帯決議を議決しました。また、議会運営委員会提案の3件も全員一致で可決しました。

なお、請願は趣旨採択、議員提案の2件の意見書は賛成少数で否決しました。詳細は、本会議と委員会の報告をご覧ください。

総合計画の基本構想及び基本計画

【概要】 町政の総合的かつ計画的な運営を図るため、今後10年間の第5次総合計画の基本構想及び基本計画を定めるもの。

これまで町は、多くの学識経験者の意見聴取、町民100人による調査活動など検討を重ねてきました。また、議会としても特別委員会を設置して総合的に検討し、提言してきました。

激動の10年間を見通して問う

【問】 道州制が実施され、30万人以上の都市への強制合併が予想されるが、そういう中でも「自立をめざすまちづくり」を進める決意とみてよいか。

【答】 地方制度をめぐる情勢は混沌としているが、10年間は単独町政が持続することを前提にした構想である。他方、学研都市全体の広域的連携をめざす。

【問】 東南海地震、直下型地震などの自然災害が予想されるが、防災と福祉のまちづくりを進める構想か。

【答】 それらを十分踏まえた構想である。

【問】 TPPへの参加などによって地域経済が一層深刻化することが予想されるが、誘致産業のみならず、地元産業を含んだ地域循環経済の発展を構想しているか。

【答】 既存産業を含めて新産業の創出を図るものである。

【概要】 伊藤三雄氏、養毛恵津子氏の教育委員会の任命同意を定めるもの。

教育委員会委員の任命同意

【問】 教育委員と民生委員は、それぞれ重要な任務であり、兼任はいいかなものか。

【答】 それぞれの任務は課題が山積しており、将来的にも兼任とするものではないが、今回の

人事については最適任者として判断した。
【全員一致同意】

24年度一般会計補正予算(第6号)

【概要】 公金収納管理のコンビニ収納手数料、福祉医療費等助成、就学援助等の追加計上、補正額2億3,012万円。

【問】 公金収納の特別徴収(天引き)と普通徴収の割合、及び、普通徴収の4つの徴収方法の手数料、町として推奨する徴収方法は。
【答】 口座振替を推奨する。

第5次総合計

基本構想

まちづくりの基本理念

神奈備丘陵を臨む木津川流域に位置する本町は、万葉の時代以来、古くから人々の暮らしが営まれ続け、歴史と文化の香りのあふれる農村集落のまちとして成り立ってきました。

それらを礎にして、けいはんな学研都市（関西文化学術研究都市、以下「学研都市」という。）の中心地として都市建設が進められ、我が国が急速な少子高齢化により人口減少局面に入った今日であっても、なおも都市としての成長を続けるとともに、関西ひいては我が国全体の持続可能な新たな社会経済システム創造への寄与が期待されるという高邁な使命を帯びたまちであります。

その歴史においては、幾多の天災や人災に遭っても、人と人が支え合い、自治を守り、今日に残る美しい田園と里山の風景を擁する郷土が育まれてきましたし、学研都市建設の開始以降も、開発と保全の調和のとれたまちづくりのもと、既存集落の住民と新市街地の住民が共に緑豊かな精華町を愛し、個性豊かな地域コミュニティが育まれてきました。

一方で、これまでに学研都市精華町としての都市建設は概ね3分の2完成をみましたが、本町とて少子高齢化やグローバルゼリゼションの波と無縁であることは許されず、今後の都市建設にあたっては、そうした社会経済の急変への対応と並行しながらの、より一層難しい成長管理が求められます。

こうした中で、4次にわたる総合計画で掲げ続

けてきた根幹的な理念を継承するとともに、これまでのまちづくりの到達点を見定め、新たな地平を拓くべく、概ね30年後の将来展望を見据えながら、向こう10年間の施策の展開方向を定めるにあたり、まちづくりの基本理念について、次のように設定します。

(1) 緑豊かな調和のとれたまちづくり

先人から受け継いだ緑豊かな郷土と文化を愛する心を育み、これからも、開発と保全、都市と農村の調和のとれたまちづくりを進めます。

(2) 人を大切にするまちづくり

ふるさと精華町に生まれ、また、心豊かに育ち、健康に暮らし、安心して最期を迎えられるよう、人を大切にするまちづくりを進めます。

(3) 交流と連携による幸福感あふれるまちづくり

地域の絆を深め、多様な公共的活動がさらに盛んになるよう、住民同士や団体同士の交流と連携による幸福感あふれるまちづくりを進めます。

(4) 新産業創出のまちづくり

既存産業の振興とともに、学研都市を活用した産業集積により、住民福祉の向上と学研都市全体の将来を支えることのできる新産業創出のまちづくりを進めます。

(5) 学研都市の広域的連携推進のまちづくり

様々な広域行政課題や新たな地方分権に対応するため、学研都市の中心のまちとして、広域的連携推進のまちづくりを進めます。

〔神奈備丘陵〕木津川流域から西方に望む京阪奈丘陵を言う。神奈備（かなび）とは地域の神々がこもる丘や山のこと。

（第5次総合計画より抜粋）

問 福祉医療費などの増加の要因は。

答 法改正や1人当り給付額の増加による。

問 小中学校の就学援助費の増加の要因は。

答 厳しい経済状況のもとで、母子家庭の転入や自営業の家庭の困難さによる。

【全員一致可決】

徴収方法	振込手数料	割合
特別徴収（天引き）		約3割
普通徴収		約7割
1) 役場窓口	無料	
2) 金融機関窓口	無料（京銀のみ1件当り3円）	
3) 口座振替	1件当り10円	
4) コンビニ収納	1件当り55円	

町立体育館・コミュニティセンター及び町内体育施設の指定管理者の指定の付帯決議

【概要】 町立体育館等の管理業務の指定管理者に町体育協会を指定するにあたって、設置目的を支障なく実現させるため、付帯決議するもの。

精華町立体育館・コミュニティセンター及び町内体育施設の指定管理者の指定に対する付帯決議

当該施設を指定管理に移行するにあたり、設置目的を支障なく実現させる必要がある。

ついては、次の事項について、最大限の努力を行うこと。

- 1 指定管理後の運営などを客観的立場から点検する組織（第三者委員会）を指定管理開始日までに設置すること。
 - 2 事業計画が具体性に乏しいので、指定管理開始日までに、さらに具体的な「実施計画」を策定すること。
 - 3 指定管理施設が、広域避難場所であることから、指定管理開始日までに、災害発生時の指定管理者と精華町行政の役割分担を含め「危機管理・災害対応マニュアル」を策定すること。
 - 4 施設利用や使用料の減免措置の平等性・透明性確保のため、規則などの改正を検討すること。
 - 5 文化協会など関係団体との連携を進め、住民に歓迎される独自事業の展開を図るよう指導すること。
 - 6 上記事項について、議会に報告すること。
- 以上、決議する。

対象施設は…

- 精華町立体育館・コミュニティセンター（むくのきセンター）
- 打越台グラウンド・テニスコート
- 池谷公園多目的コート
- 木津川河川敷多目的広場

問 付帯決議には拘束力がないのに付帯決議する意義は。

答 委員会の中で審議されてきたことに基づき、「これだけは」という重要意見を確認する意味で決議するもの。

【全員一致可決】

特別用途地区の研究開発地区内の建築制限条例の一部改正

【概要】 府の学研ゾーンにおける研究開発型産業施設の立地基準の見直しを受けて、6項

- ①出力合計が0.75kw以上の原動機使用の塗料の吹付
- ②ガラスの製造または砂吹
- ③金属の溶射または砂吹
- ④鉄板の波付加工
- ⑤スプリングハンマー使用の金属の鍛造
- ⑥伸線、伸管またはロールを用いる金属の圧延で出力4kw以下の電動機使用のもの。

規制緩和される工場

目の工場の進出制限を緩和するもの。

問 なぜ6項目の制限緩和か。

答 ①規制によって進出を断念した項目②研究開発と生産機能をあわせ持った企業の生産工程の一部で使用される可能性のある項目③学研都市の中心クラスターとして受け入れ可能で、かつ、必要な項目。府などと調整した上で決定した。

問 大気汚染、騒音など公害が心配されるが、規制は。

答 公害防止法、府の企業立地審査、環境条例などによって規制されるので環境悪化はしない。

問 住民からの疑問や質問に対する説明や、住民の合意形成はいかに図るか。

答 基本的には考えていないが、住民からの要望で協議することもある。

問 地元雇用をいかに確保するのか。

答 企業立地促進法にもとづき、地元雇用を求めていく。

【全員一致可決】



研究開発地区

各議案のあらましと表決結果

[賛成○・反対●・欠席一]

種別	議案（あらまし）	結果	愛精会				共産党			精政会			住民派の会		民主党		公明党		無党派			
			森田	杉山	和田	植山	森元	松田	坪井	佐々木	鈴木	奥野	三山	本田	神田	塩井	安宅	村尾		青木	宮崎	今方
請願	教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提案	会議規則一部改正（公聴会開催、参考人招致の規定）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	委員会条例一部改正（委員選任の規定）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	政務活動費交付条例制定（名称と経費範囲の変更等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育委員会委員の任命同意	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	伊藤二三雄氏	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「復興予算」の流用中止を求める	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	TPP参加交渉に向けた取り組みを断念することを求める	否決	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計（第5号）専決処分の承認 1,719万円（総選挙経費）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合計画	一般会計（第6号）2億3,012万円（福祉医療費等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険特別会計（第1号）2億818万円（必要経費の基金繰入等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約	総合計画の基本構想及び基本計画を定める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	精華中学校コンピュータ備品の取得（内田洋行ITソリューションズ893万円／落札率89.9%） 町立体育館・コミュニケーションセンター及び町内体育施設の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指 定	上記の付帯決議（6項目）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別用途地区の研究開発地区内の建築物制限条例の一部改正（工場の進出制限の緩和）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

体育施設の指定管理者の指定（二日間徹底審議）

総務教育

精華中学校コンピュータ備品取得



【概要】生徒の情報活動能力を育成し充実するためにコンピュータ備品の更新を行う。

問 無停電電源装置とは。

答 雷等で遮断された時、機器に負荷をかけずシャットダウンする装置である。

【全員一致可決】

町立体育館、コミュニケーションセンター及び町内体育施設の指定管理者の指定について

問 選定にあたり、公正性・透明性の確保は。

答 手続き条例に基づき、公募と変わらない手順と公開原則の水準で選定に努めた。

問 減免適用の公平性に懸念は生じないのか。

答 減免規程については、指定期間の開始までに整理する。

問 広域避難場所としての対応は。

答 マニュアルの作成や協定書での明記など整理する。

問 施設管理能力について、すべて管理者に任せず、専門業者に委託しては。

答 エレベーター管理

などは専門業者に委託する。

問 利用収入が増額したときの対応は。

答 増額るときは新たな事業計画へと転換していく。

問 利用収入が減額したときは。

答 減額るときは管理者負担とする。

問 指定管理5年後の残金処理は。

答 町に返納する。

問 文化協会との連携は。

答 今後協議していく。

【全員一致可決】

請願

教育格差をなくし、子ども達にゆきとどいた教育を求める

【趣旨採択】

民生環境

【報告】男女共同参画推進計画の進捗状況について

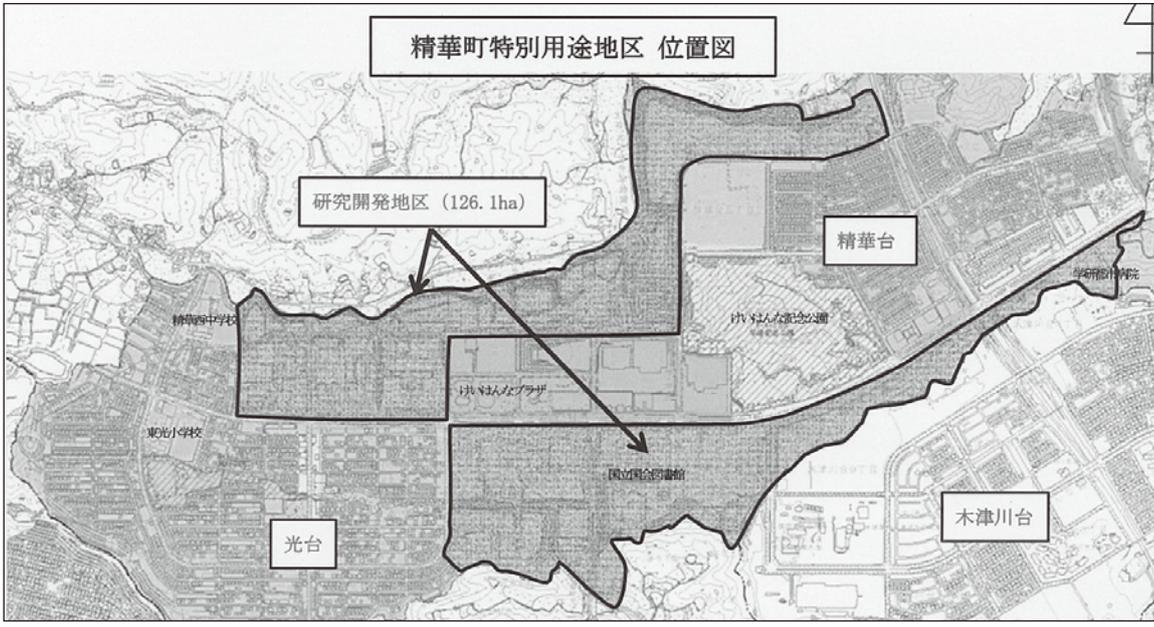
建設産業

特別用途地区の研究開発地区内における建築物の制限に関する条例の一部改正

【概要】文化学術研究ゾーンへの研究開発型産業施設の立地促進を図るため一部改正するもの。

問 制限によって進出できなかった企業が過去にあったのか。新たな企業が見込めるのか。

答 今まで断念された企業は数社あった。今後の見込みとして、生



産工程の中で研究開発に必要な項目を府・木津川市と協議した。新たな企業はまだない。

問 商業地域において一向に企業の進出気配がない。規制と関係があるのか。

答 URが所有している土地であり、模索中とのこと。

【全員一致可決】

予算決算

24年度補正予算

一般会計(第5号) 専決処分の承認

【概要】 総選挙経費 1、719万円

【全員一致承認】

一般会計(第6号)

問 各種公金収納の一件につきコンビニ収納を始めたが、町の手数料の

負担が大きい。手数料が少なくて済む口座振替を増やす努力は考えているか。

答 5年前から納付書を送る際に、口座振替依頼書を同封し案内と依頼に努めている。

問 保育所の臨時職員を増やすのは、利用者が増えているという実態があるのか。

答 児童数が増えているのと、早朝・延長保育の利用者数が増えていることによる。

問 子育て医療費助成が増額となる要因は。

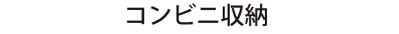
答 近くに病院があることにより通院が増えている。

問 「コンビニ受診」と言われるような安易な受診がないよう啓発できているか。

答 十分にはできていない。今後、医療費の抑制につながるため、関係機関とともに研究していきたい。

問 歳入では財政調整基金から繰り入れて税金がゼロとなるが、来年度の国保税の値上げにはならないか。

答 給付と負担の均衡をはかる努力をしていきたい。また、必要な医療は受けていただきながら、特定健診の受診アップ、健康増進の活動、ジェネリック薬品の促進など、適切な対応を推進していきたい。



コンビニ収納

問 将来人口は4万人になっているが、ごみ処理、水道については5万人となっている。その差の要因は。

答 ごみ計画での将来人口は4万8千人で、水道も現時点では同じ人口数である。人口目標の減少要因は、京阪電鉄開発地域2300人、近鉄開発地域5400人の合計7700人の減少を見込んでいる。なお、近鉄地域は都市計画で特別保留扱いになっている。

問 国民健康保険特別会計

【全員一致可決】

国民健康保険特別会計

【全員一致可決】

総合計画特別委員会

総合計画の基本構想及び基本計画を定めることについて

問 将来人口は4万人になっているが、ごみ処理、水道については5万人となっている。その差の要因は。

答 ごみ計画での将来人口は4万8千人で、水道も現時点では同じ人口数である。人口目標の減少要因は、京阪電鉄開発地域2300人、近鉄開発地域5400人の合計7700人の減少を見込んでいる。なお、近鉄地域は都市計画で特別保留扱いになっている。

問 歳入では財政調整基金から繰り入れて税金がゼロとなるが、来年度の国保税の値上げにはならないか。

答 給付と負担の均衡をはかる努力をしていきたい。また、必要な医療は受けていただきながら、特定健診の受診アップ、健康増進の活動、ジェネリック薬品の促進など、適切な対応を推進していきたい。



【全員一致可決】

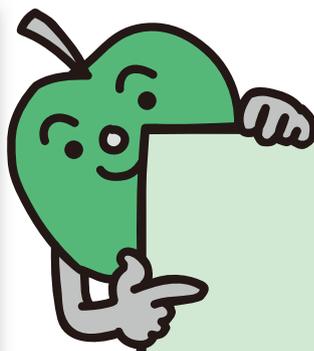
総合計画の人口目標

総合計画策定年	人口目標最終年	状況
第1次(1977年)	45,000人(1985年)	小規模開発による人口増加
第2次(1986年)	50,000人(2000年)	学研都市構想の具体化
第3次(1994年)	50,000人(2005年)	学研都市の法整備が進む
第4次(2002年)	38,000人(2012年)	少子高齢化とバブル崩壊
第5次(2012年)	40,000人(2022年)	人口急増を抑え、人口定着を図る

住宅開発と単位人口による将来人口推計

	(実績)	H22	H27	H32	H37	H42
人口		35,419	36,744	38,102	38,879	39,255
人口増加数	1,295		1,325	1,358	777	376
住宅増加件数	1,032		1,056	1,082	619	300

今方晴美 議員



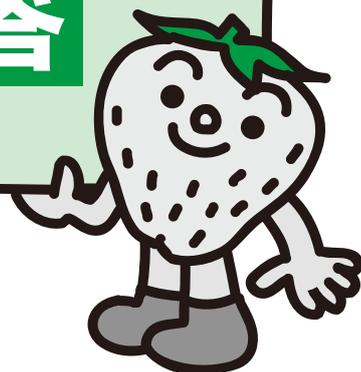
ここが、聞きたい

一般質問

15人の議員が質問しました。

1問

1答



※質問者順に掲載しています。

※ は、本文以外の質問事項です。

Q 光台1号線の安全対策を急げ

A 年度内に実施する

Q 光台1号線6カ所の交差点で交通事故が多発している。早急に更なる効果的な安全対策を講じる必要がある。

A 道路の急カーブ手前に減速を促す帯状の路面標示の箇所があるが、今後交差点手前に

も帯状の路面標示を早い時期に順次設置する。

Q 精華地区まちづくり協議会からも木津警察署へ「信号機設置に関する要望書」が提出されている。一日も早く信号機の設置が実現できるように町から強く

働きかけるべきである。

A 強く要望していく。

女性視点での防災対策

Q ①町防災会議へ多様な専門性を求めるため、3割を目標に女性委員の登用を②体験型避難所運営訓練（HUG）の導入を③自主防

災組織に防災士の配置を④災害弱者を対象に家具転倒防止事業の導入を⑤災害ボランティアセンターに防災グッズの展示コーナーを。

A ①取り組んでいる②防災訓練の前に計画をする③検討を進めている④実態調査を踏まえ判断する⑤設ける。

防災教育の充実を質問しました。



アピタ北側（光台1・2号線）交差点

青木 敏 議員

佐々木雅彦 議員



下水道の一部未整備エリア

Q 不公平税制の是正を

A 国に要望している

- Q** 社会保険料の年金天引きは、控除できずに不公平が生じており、改善を求める。
- A** 介護保険料の扱い変更を国に要望している。
- ユニバーサルデザイン**の観点で改定を
- Q** バリアフリー促進のため指針の改定を。
- A** 指針見直しの準備に入る。
- 産業立地と税収確保は**
- Q** 産業立地が進んでいるが、税収が伸びていない。産業構造と税収の目指す姿は。
- A** 雇用と企業の固定資産税の倍化を目指す。
- 北ノ堂周辺の下水対策**
- Q** 排水対策として菅井雨水路の進捗は。
- A** 平成26年度に郡山街道まで目指す。
- Q** 北ノ堂の下水道未整備エリアの解消は。
- A** 27年度着手を予定している。
- 祝園駅通路の雨漏り**
- Q** 祝園駅通路の雨漏り対策の促進を。
- A** 順次、財源確保して進める。
- 桜が丘のベンチ交換**
- Q** 桜が丘回遊路の整備が必要だ。
- A** 計画はあるが、未実施。ベンチは、今年度に交換する。

Q 情報の共有化と人材育成を

A 計画策定時の課題と認識している

- 町づくりを問う**
- Q** 第5次総合計画に小学校区単位のコミュニケーションティーとある。①今まで進めてきた施策・事業は②うまくできたか③今後の新たな施策・事業は④自治会とすみ分けは。
- A** ①防災訓練を実施②新市街地での自治会結成のため積極的な誘導はない③自治会と各種団体との交流・連携さらには行政との連携の場づくり④地域コミュニティの基礎単位として自治会は堅持。
- Q** 先進事例として隠岐諸島の海士町では、コミュニティデザインナーが計画作成に加わり、いろんな機会に住民や各種団体から挙がってきた課題や意見、仕組みづくりを支援してきた。本町では①各部署での情報の共有は②なお一層の住民や各種団体の協力が必要では③どの部署が対応か④人材の育成は。
- A** ①共有されていない場合もある②これらの研究と検討が必要③それぞれの部署、統括部門は今後の課題④各分野で行っているが総合的な支援施策として人材育成は必要。



100人の集い

和田貴美子 議員

三原和久 議員



土曜日授業を実施している一部の学校

Q 学力向上のため土曜日授業の導入を

A 課題を検証・検討する

Q 府教育委員会は、24年度から新学習指導要領の実施で、年間授業時間の確保が難しくなることを受け、公立学校で休日となつている土曜日の有効活用について検討を始めた。実際には多くの学校が時間確保のため、土曜日に自由参加の体験活動や補習、部活動などをを行い、教員が出勤している。土曜休業の是非をはじめ、活用する場合はその回数、全員参加の学科補習などの内容が適切かを考えるべきではないか。土曜休業は学校教育法施行規則で定められているため、法的な課題もあり簡単には変更できない。しかし、大阪では来年度から土曜日授業復活を目指し、モデル校を指定し、環境整備をして学力向上の強化策を検討している。6割の保護者が求めている土曜日授業を本町で導入する考えは。

A 府教育委員会では、土曜日の教育活動を一層進め、来年度に向けてあり方を検討中。町としても成果や課題を検証し検討していく。

Q 循環型社会実現を

A 住民参加で事業を進めていく

Q 環境基本条例の規定に基づき、推進委員会の設置やプラットフォームが開催された。今後の取り組みは。

A 推進委員会は環境の保全・創造に関する施策を推進し、基本計画の進捗を管理する機関である。プラットフォームはリーディングプロジェクト実現に向け、情報交換の場として環境団体が参加している。

Q 学校給食残菜などを活用し堆肥化処理機の導入を。

A 体験型環境教育につながるかと考え、モデル校での試行を検討する。

Q 廃油回収取り組みの進捗と展望は。

A 昨年度は6360リットルの回収実績があり、各自治会と拠点の常設化を調整する。企業にも促していく。

Q 有用微生物を活用した山田荘小学校ブルー清掃が21年度から4回実施された。拡充と支援策は。

A 総合学習で実施した結果、時間も労力も軽減できた。予算も含め各学校への導入を働きかける。



神田育男 議員

Q 今後も子育てにやさしい町として発展するには、中学校への完全給食の実現が急務だ。「議会決議を重く受けとめる」と言いながら、懇談会の設置は「重く受けとめていない」ことになる。食のあり方

A 懇談会では議会決議に反する議論も行われている。「議会軽視」ではないのか。
A 議会決議は十分認識して懇談会を設置した。町でやることになっても、自校方式やセンター方式など課題を

Q 煮詰める必要がある。完全給食という方向性は否定していない。
A 清潔で快適な生活環境を守るためには、下水道事業の早期完成が望まれる。①未着工

の既存地区の計画は②都市計画税を納めている祝園地区の完成は。
A ①柘榴の120戸、旭の40戸、北ノ堂8戸であり、来年度は柘榴から着工する②祝園(駅中地区)は区画整理、再開発の兼ね合いで最終は平成32年度末になる。

A 食のあり方懇談会の結論を待つ **Q** 中学校完全給食実施の具体化を急げ



あっせん弁当

坪井久行 議員



Q 介護サービス充実と負担軽減との両立を **A** 一般会計からの法定外繰入は考えない

Q 消費税法と一体的に採決された社会保障制度改革推進法は、自己責任が基本で、国や自治体の公的責任を大きく後退させるのでは。
A 健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を守る事が本町の

責務。給付と負担の効率化、適正化に取り組み、持続可能な社会保障制度を確立させる。
Q 本町の介護と福祉について①高い介護保険料をどうするか②ホームヘルプの時間短縮、認知症の介護施設の設

置など介護サービスの充実策は③介護保険料の負担軽減と介護サービスの充実の両立には、国庫負担の増額と一般会計からの政策的繰入が必要④高齢者のリアルな実態調査を。
A ①介護サービスの

適正な給付と介護予防事業に力を入れ、保険料の上昇を防ぐ②介護施設の設置は保険料に影響するので、慎重に判断する③国庫負担金の増額を要望する。一般会計からの法定外繰入は制度上、また、世代間の不公平となるので考えていない④計画作成の基礎調査として実施する。

内海富久子 議員

Q 国会で脳脊髄液減少症を積極的に取り上げ、検査費用が保険適用となった。しかし、交通事故、遊具からの転落、スポーツ外傷などの衝撃による、頭痛、吐き気、倦怠感等の症状が、不登校、怠け者

Q 国会で脳脊髄液減少症を積極的に取り上げ、検査費用が保険適用となった。しかし、交通事故、遊具からの転落、スポーツ外傷などの衝撃による、頭痛、吐き気、倦怠感等の症状が、不登校、怠け者

Q 環境に優しいまちづくり
小型家電のリサイクル法が成立した。大型ごみに出している小型家電の回収促進を求め、

Q 報収集に努め研究する。LED化に民間資金を活用し、初期投資なしで節電とコストダウンが期待できるリース方式の設置を提案する。
A 国の補助金活用か、民間のリース方式か、有効性を検討する。
※脳脊髄液減少症は身体に強い衝撃を受けることで脳脊髄液が漏れ出し減少することによる症状



山本清悟 議員



Q 保健センターの庁舎への移転で経費節減を

A 移転は考えていない

Q 保健センターの運営費を23年度約1178万円支出している。賃借料の節減のため庁舎への移転を提案する。
A センターを適切に運営する必要経費である。役場庁舎への移転の考えはない。

Q 賃借設備のクーラー設置に約250万円の支出は、借家人(町)としておかしいのではないかと。
A 改修費用として、賃貸料の一定額を減額する覚書を結んだ。
Q 訪問看護の充実を在宅療養生活で欠

かせない重要施設の町立訪問看護センターの24時間対応は。
A 緊急時対応の希望者は別途契約で、また医師の指示で対応。
Q 19年度以降収支が悪化し、繰越金が底をつき23年度は一般会計

から繰り出している。本格的な改善策は。
A 繰越金を除く収支は毎年赤字で、収支改善を図るとともに、本ステーションの在り方を検討している。
Q 狭い道路の安全対策は
A 祝園・東畑線の安全確保と道路拡幅を。
Q 横断歩道や信号設置などを一定実施した。

森元 茂 議員

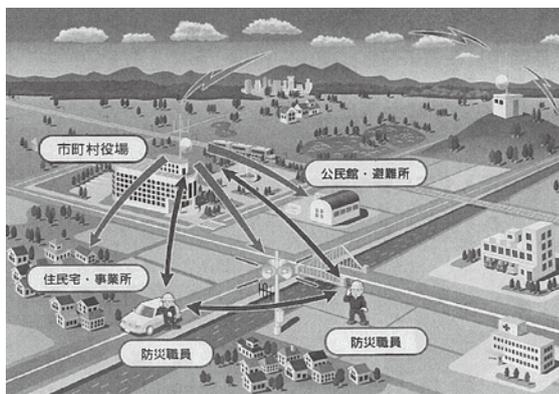
Q 防災行政無線は災害時や発生後においても町民の生命を守り、安全を確保し、防災業務や災害復旧の業務遂行に必要と考える。府下で未設置は3市町あり、一つが本町である。庁舎5階フロアー

に全国瞬時警報システムの端末を整備し、各自治会、学校などに情報が迅速に提供できる手段など検討している。また携帯電話での緊急速報メールの運用開始や防災訓練ではKCN京都による防災情報の

運用、業務用無線の検証などの本格実施を目指していく。防災行政無線は慎重に検討していく。

Q 府道木津八幡線、植田地内から南地内の西側歩道設置を。

A 西側の歩道整備は、家屋が連なっており非常に難しい。府は代換え措置として山手幹線の整備を図り、供用された段階で木津八幡線の交通量は激減するとの考えである。「ふたかけ」等を行った後、移管を府に要望している。



防災行政無線の構想

A 慎重に検討する

Q 防災行政無線の設置を

村尾礼示 議員



光台1号線

Q 光台1号線で交通事故が多発

A 公安委員会と協議する

Q 町道光台1号線（アピタタウン北側の東西通り）の6か所交差点における本年10月末の交通事故は、人身7件、物損54件となっている。道路管理者として公安委員会との連携は。

A 警戒標識や案内標識は公安委員会の意見を聞いて設置している。さらなる安全対策について協議していく。また、標識や啓発看板が見やすいよう植栽剪定など維持管理に努めていく。

Q 事故の減少に向けた安全施策を求める。

A この路線への早期の信号機設置を木津警察署に要望しており、公安委員会による一旦停止や速度などの取り締まり強化や巡回パトロールを依頼している。

また、交差点手前の路面に凹凸状の標識を設置するための協議を木津警察署と行っている。不適切であると指摘の交差点標識や路面標示については、確認後に対処する。交通安全計画・実施計画については、策定に向け取り組んでいく。

松田孝枝 議員

Q 視覚障がい者へのきめ細かな情報提供のあり方などが問われるが、今後の施策改善は。

A 音声読み上げ装置の給付、バリアフリーの推進、人材育成に努め、緊急時の情報伝達に取り組む。

Q 特別支援教育のあり方や学校生活での指導や対応について、さまざまな声がある。また、昨年、法の一部が改正された。本町の基本的認識、改善策は。

A 学校間の認識の温

Q 度差、コーディネーターの兼務、専門的な人材確保など課題がある。再点検し、保護者とのきめ細かな連携など改善を進める。

Q ①祝園駅西區画整理事業実施時における

用排水路②山手幹線事業実施に係る農業用水路③狛田駅東區画整理事業における農業用水路の課題と改善は。

A ①事業により直線的に整備し、放流先水路に結合。操作、管理の再確認や調整を図る②雨水流出抑制施設の効果を期待③改善が必要な時は地元水利組合、利用者で調整しながら対応する。



白杖安全デー

Q 視覚障がい者にもっと情報を

A 緊急時の情報伝達にも取り組む

安宅吉昭 議員



Q 協働のまちづくりセンター構想は

A 現時点では考えていない

Q ボランティア団体・各種団体の活動拠点となる(仮称)「協働のまちづくりセンター」を確保することが求められている。どう考えるか。

A 協働のまちづくりセンターは拠点(ハブ

ド)だけでなく、事務局機能(ソフト)も重要であると考えている。ただ、現時点では検討していない。

Q 役場の4階フロアは予備スペースとして休眠のままである。

A 4階レイアウトの工夫、セキュリティの確保などを検討して、利活用をはかる幅広い議論をしていきたい。

Q 犯罪防止に防犯カメラの設置を

A 本町における防犯カメラの設置状況は。

A 祝園駅のペDESTリアンデッキ、祝園西1丁目の花広場、桜が丘の住民サービスコーナーなど、法令上や施設管理上必要な最小限の設置である。

Q 今後の設置は。

A 設置指針を整備するとともに、駅前駐輪場は盗難が増加しているため、設置を検討していく。

宮崎睦子 議員

Q 食のあり方懇談会は中学生の食育に期待が持てる意義ある会となっているが、子育て支援の観点から、公の援助を必要としている家庭・生徒の声は議論されていない。いったい誰が代弁するのか。

A 委員は配布した資料やアンケート結果など現状を踏まえ議論している。子育て支援の観点も含め、様々な立場の人の事情や意向など十分理解してのことと考えている。

Q 中学校の現場が給食の現状を知らない。
A 書面上では理解していると考えますが、実際は知らない先生もたくさんいる。一度現場を見ていただく事が一番早いと考えている。

Q 図書館を高齢者福祉としての活用を
A 経験豊かで元気な高齢者の居場所として図書館を中心とした活用を提案する。隣接する交流ホールを講演会の開催会場やサロンとして活用してはどうか。
A 団塊の世代の「活動の場」をつくる事は重要な課題。各種の講座やサークルの結成など積極的に取り組む。



交流ホールと図書館

山口利忠 議員



精華台五丁目

Q 精華台五丁目の住宅販売・入居計画は

A 早ければ今春からの販売開始を検討

Q 植田西線と美濃谷幹線の交差点の信号機も完成し、交通安全対策も図られているが、いまだ精華台五丁目に住宅が建築されない。
① 精華台五丁目の販売・入居の状況は② 入居開始に関して、精華台

小学校などの受け入れ態勢はできているか。
A ① 精華台五丁目の販売計画は、開発事業者が、本町の義務教育施設の受け入れ可能児童・生徒数を考慮のうえ、早期の販売を計画していたが、近年の社

会情勢や景気状況などの著しい変化を受けて、当初の計画時期から若干の遅れが生じている。しかし、信号機の完成などにより、開発事業者は、早ければ25年春ごろからの販売開始を検討している② 精華台

五丁目の校区となる精華台小学校と精華台小学校の受け入れ態勢については、国の児童生徒数調査の結果に基づき、教育や学校運営に支障が出ないよう開発事業者と協議を進め、受け入れ態勢に万全を期している。今後も引き続き十分な協議・調整を図り、慎重に対応していく。

平成24年度精華町議会報告会（報告書）

参加者が増え、充実した議論に

さる10月19日から21日までの3日間、3会場で議会報告会を開催しました。昨年以上の合計66人の方が参加され、水害・介護・中学校給食など、多様なテーマで熱心な質疑や意見交換がされ、充実した報告会となりました。以下、紹介します。

1 開催日時・参加者等

日 時	会 場	参加者数 (人)		
		男	女	計
10月19日(金) 19時～20時55分	精華南中学校校体育館	13	10	23
10月20日(土) 19時～21時06分	精華町交流ホール	16	5	21
10月21日(日) 19時～20時15分	光台コミュニティーホール	17	5	22
	合 計	46	20	66

2 意見交換

議会報告に対する意見・提言等

防災対策は

Q 8月の災害時、煤谷川は東畑の公民館から上流の所が狭くなっているのが、水があふれて公民館がつかることになった。いつまた起こるかわからないので現地調査をお願いしたい。

A 従来は低い所で被害があったが、今日は中間的な所で被害が発生している。議会としても調査してどこを改修できるか行政に強く申し入れたい。

Q マンションの場合、

広域避難場所（学校など）に避難することになるが、そこが老朽化しているとかえって危険な事態になるのでは。

A 学校の耐震化がまだのところは早期に実施を求めている。また、防災計画の見直しもしている。

Q 祝園西1丁目の浸水した原因は、マンホールでの吹き出しによるもの。径の太いものに取り替えるべき。排水路が真っ直ぐ東に抜けるべきところ、直角で曲がるところが4箇所もある。設計の見直しが必要である。

A 建設産業委員会

も指摘している。1日も早く改修を求めている。

Q JR軌道下の水路の祝園地区2箇所は大雨の水を処理できない。もともとは農業用水路であるが、排水も併用しているのが問題である。都市計画税を活用した実効性のある計画を求めたい。

A ご指摘の通りである。行政に求めていきたい。

介護保険料が高くなったのは

Q 介護保険料の33%もの値上げで負担がきつくなっているが、町民の負担についてど

んな議論がされているか。

A 保険料の高い分、要介護の給付額が府下でも一番多く、サービ

スが充実している。今後、国民会議の中で消費税を含めて議論されるので、国の動向を見守っていく。

Q 介護保険事業で平成23年度決算で7800万円の繰越金があるのに繰り入れもせず、1億7000万円の借金をしたのはなぜか。

一般会計からの繰り入れをなぜしないのか。そのため保険料が5850円と府一番高くなっている。

A 介護保険料は3年ごとに保険料が設定される制度である。今回保険料が高くなったのは、直近の3年間では介護サービスの積算が甘く、府内で居宅介護サービス利用が一番であったこともあり、1億7000万円借金したので返さねばなら

ない月額670円分も含んでいる。また、一般会計と特別会計は別建てであり繰り入れには限界がある。

Q 介護事業は町でなく民間の競争でできないか。介護保険料は5850円で関西で4番目に高い。また、社会福祉協議会にはもっと頑張ってもらいたい。

A 介護保険の利用料は均一であり、サービスの質により競争となっている。社会福祉協議会には正しく理解されるよう伝えたい。

いじめ問題

Q いじめの取り組み対策は。どんないじめが中味について教えてほしい。

A 大津市の事例をうけて委員会で本町の取り組みの報告を求めた。残念ながら具体的な内容は議会には報告されていない。

Q 学校現場は頑張っておられる。教育委員



会との連携は。学研都市ゆえ教育レベルを高めてほしい。

A 教育委員会と学校の情報公開を求めているが、プライバシーに関わることなので公開されない。

Q できるだけ早くいじめを見つけたら、本町としてはいじめに関するマニュアルに基づき取り組まれている。コミュニティスクールが開設されていて、道徳教育を通じて実施

されている。いじめの件数は。

A いじめの件数は24年4月から7月で小学校2件、中学校3件。うち小学校は1件解決、中学校でも1件である。学校現場は大変ななかで頑張っていると評価している。

その他

Q 農業の担い手の予算とは。

A 農業の担い手育成については、荒地が多いので農業の担い手をサポートしている。う、というものの。

Q 国会図書館が存在することを駅前PRできないか。また、次世代エネルギーの活用、太陽光発電の検討も進めてもらいたい。

A いずれも

委員会で見解を出して、行政に申し入れしている。

Q 補正予算にある地域支え合い体制づくりの中味は。

A 予算は1700万円。認知症予防・介護予防、要配慮者体制づくりなどである。詳細は役場福祉課で確認いただきたい。

テーマ別意見・提言等

① 学校給食と食育について

Q 仕事しながら子育てをしている者として、中学校給食をぜひとも実施してほしい。前向きに検討とのニュアンスだが、到達点は平成22年度の文科省の調査によると、中学校の給食実施率は85・4%、完全給食実施率は76・9%、補食給食0・6%、ミルク給食0・8%である。本町の検討状況は。

A 昨年、行政がアン

ケート調査した。保護者の方は圧倒的に望んでいる。議会としては、全員一致して「完全給食を実施すべき」としている。行政は「食のありかた懇談会」を設置して、実施に向けて給食のあり方を今年度中に示していきたいとしている。平成27年度の精華中学校の建替えと併せて町内平等に実施の方向であるが、ずれ込む恐れもある。

② 校区ごとに給食センターをつくれば、将来的には高齢者の給食センターにもなりうるのでは。自校炊飯は大切だが、私らにとって、もっと早く実施してほしい。センター方式でも段階的に実施すればよい。野菜をスープレ形式にするのも考えてほしい。

A 働く女性が増えているが、京都は普及度が低い。生まれ育った茨城県では、中学校給食が実施されている。季節に合わせた献立で栄養も考えている。弁当では偏りが出てしまう。民間委託によって安上がりにはできる。中学校給食の実施で就業率をアップできる。

② 地域福祉活動について

Q 山田地区に介護施設を設置する予定であったのが、調整区域のためダメになった。調整区域の方が地価が安く「特例」が適用されるべきだ。

A 府の所管部署が違う場合もあり、事前の調整が大切である。

Q 認知症が増えているなど、東畑は限界集落に近づいており、いずれば共倒れの心配がある。地域のみんなで支えあっていくことが大切だと思いが、どつかが

A 認知症を早めに見するよう医療と連携し、京都市包括ケアシステムで取り組むよう要望していく。

Q 今、特別養護老人ホームは150人から200人待ちという現状がある。特養の建設に力を入れていただきたい。

A その方向で努力する。

③ 交通網全体について

ついで

Q こどもたちの通学路が心配だが、交通安全施策は。できるかぎり横の連携をとってとりくんでほしい。

A 教育行政の方も亀岡の事故を教訓にして、かなり詳細に検討している。委員会としても強く要望している。
Q 交通指導員が少ない。増やしてほしい。要望として受けと

3 アンケートの集計結果

- アンケートの回答者数 45 人 (うち男性 35 人、女性 9 人、無記入 1 人)
- アンケート回答者の年代
 - 40 歳代 1 人 □50 歳代 5 人 □60 歳代 22 人
 - 70 歳代 16 人 (無記入 1 人)

	回覧	議会だより	議員・知人紹介	無記入
参加のきっかけは	9 人	7 人	22 人	7 人
	よい	わるい		無記入
開催の時期は	37 人	4 人		4 人
開催の時間帯は	36 人	6 人		3 人
報告会の内容は	35 人	7 人		3 人
議会報告会の資料は	37 人	—		8 人
	評価する	どちらでもない	評価しない	無記入
議会報告会の評価は	28 人	6 人	2 人	9 人

める。

《アンケートより》

議会報告会の内容に関しての意見

テーマ設定はよかった

● 議会報告会の内容は書面で充分理解できず。普段、議会は縁遠いと思われる。若い女性が子供の給食・食育問題について熱心に発言し、町議会議員

をより身近に感じられたのではないかと。● 出席議員(オブザーバー参加含めて)が自由に発言できる懇談の雰囲気作りも大切。● 住民の参加を多くする工夫は、ホームページ、町内回覧だけで済ませず、創意や工夫が必要。第1は参加すれば得るところが多い、というひきつける中身づくり。● 会場が集まりやすい場所がよかった。質疑に丁寧に対応していただいてありがたかった。● 会場の音響の反響が悪く、マイクを通しての発言が聞き取りにくかった。至急改善を望む。● 23 年度に比べ参加者が多く、報告会開催の努力をされたことは評価します。● 委員会の報告は、議会として課題や指摘した点など取り組んだことを報告してほしい。● 災害や介護保険料の問題があったこともあ

るが、第1回、第2回と比べ説明・質疑とも大分よくなったと感じます。● テーマ設定も一方法としてよかった。今後も積み上げられたら良いと思う。(テーマは、議会としての課題、住民としての課題。)時間配分的に短かったのが惜しかった。● 安心安全の町づくりを期待する住民であります。狛田駅中の開発は進められていますが、採択したと結果報告は10 年前から同じ答えを載せておりますが、はっきりした予定を住民に提示してほしい。下水道が先か開発が先か。東側の区画整理が終了すると同時に駅中の開発を考えてほしい。● 議会として一連の流れを説明して言葉を並べているだけで、自分たちがどのように考え、また行政に対して発言と質問、問いかけをしているかが不明のため

理解できない。● 報告会資料に基づき各委員長が報告をされたあとに質疑ありませんかと急に問われても出てきません。可能なこの資料を10 日前ぐらいに配付され、質問のある方から事前にその内容を調査されてはいかがでしょうか。● 第2部の意見交換のテーマの決め方についてですが、例えば学校給食についてはこんな問題がありますか、どうでしょうか、具体的な問いかけが必要ではないでしょうか。● 終了が8 時15 分でした(予定は9 時)。時間が余ったので「その他で別に質問ありませんか」と聞いてほしかったです。

町議会全般についての意見

実のある報告会に

- できれば新旧地域別々の議会報告会を。
- 議員の人数は適正で

すか。● 本議会報告会が、一種のセレモニーに終わることなく実のあるように願う。● 煤谷川河川改修が毎年少しずつ進められております。下流の方の川原橋が昨年9 月に完成しておりますが、なぜか1 年2 カ月たっても通行できない。どうなっているのか。また、滝ノ鼻の集会所の前のコンクリート塀が作られました。さっぱり何かわからない。また、右岸側の整備が2 カ所進められている。中途半端な開発はためだと思いません。● 議会議員は自分の立場と住民より伺いを求められ、また、伺いを代弁しているかを十二分に対話をし議会に反映してほしい。● 議会報告会の形式で会派別に集会所でもっとタウンミーティング的にできないでしょうか。

議会広報アンケートの結果報告

議会だより NO.137 掲載の議会広報アンケートに7人の方から貴重なご意見をいただきましたので紹介します。広報常任委員会では、この結果をもとに今後の活動に活かしていきます。

《議会だより》

●魅力ある紙面にする第一歩として、今回、表紙をカラー化しました。感想は？

見やすくなった（3人） ふつう（2人）
よくない（2人）

○理由は、・明るくなった。
・P4など字が濃すぎて読みづらい。
・むだ。

●あなたの気に入っている記事は？その理由もお書き下さい。

定例会の本会議の報告や意見書

○安心して代々住めるにはいかにすべきか。
○重要だから。
○心の真意が見えない。発言記録も報告願いたい。

主な議案のあらましと会派・個人別表決結果

○何を考えているか多少わかる。
○選挙の時に選ぶ参考になる。
○議員は住民代表だからあたりまえ。

一般・代表質問（代表質問は3月定例会のみ）

○わかりやすくてよい。

政務調査費の報告

○残った分はどうするのか。
○紙面はもう少し小さくてもよいのでは。
○非常に関心がある。
○調査内容をもっと詳しく掲載を。

各委員会の研修・活動や組合議会の報告

○ホームページに掲載を。
○関心がある。
○研修が町政にどう反映したか。

質問に対する行政のその後を追う

○大変よいので継続を。

街をつくる人

○街をきれいにするのがすべてのスタート。
○これは華創に移行し、各議員の活動をもっと詳しく知りたい。

ギャラリー華

○子ども達の絵が楽しみです。
○すばらしくて感心。
○華創へ移行を。
○議会だよりとしては価値なし。
○もっと町政・議会に関する内容にすべき。

●今後、とりあげてほしい記事は？

○くるりんバスの運行ルート。
○政務調査費の内容をもっと詳しく。
○町民からの要望。
○町はできもしないことを言わず、現実を見て回答すべき。

●その他、文字の大きさ、紙面構成、ページ数など何かお気づきのことをご自由にお書き下さい。

○ゴシック活字は場所によってはかえって見づらい。
○タイトルだけでなく、内容の字数の増加を。
○広告を取り入れたらどうか。
○議会報告会について、事前に住民から意見・要望を聞くなどして準備を。
○議会報告会では、町政の何が問題なのか、どう運用すべきか方向性を知りたい。
○議会報告会はテーマをしぼるべきでない。

《議会ホームページ》

●議会ホームページを見たことがありますか？

見たことがある（3人）
見たことがない（4人）

●新しく掲載してほしいことがあればお書き下さい。

○議案説明の掲載を是非していただきたい。

《議会放映（中継）》

●生中継を見たことがあるか？

見たことがある（2人）
見たことがない（5人）

●録画中継を見たことがある？

見たことがある（2人）
見たことがない（5人）

●見た感想は？

○よかった。
○参考になった。
○回答は形式的で実がない。
○テレビが固定なのでおもしろくない。

●改善してほしいことがありますか？

○本会議だけでなく委員会中継もしてほしい。
○休憩中の扱い（テロップ、映像、音楽など）
○議員に対する部長の回答はあいまいだ。
○議会傍聴日を本誌で事前に町民に知らせるべき。
○固定なのでテレビに映っていない議員の様子が見たい。

☆委員会活動

委員会	開催日	審査事項
総務教育	10月12日	報告：むくのきセンターへの指定管理者制度導入の検討状況
	11月5日	報告：「精華町立体育館・コミュニティセンター及び町内体育施設指定管理者制度実施要綱」「指定管理者業務仕様書」
民生環境	10月15日	報告：ごみ焼却場木津川工場清掃センター建設計画（案）の経過等
	11月19日	報告：1. 健康増進計画の取り組み状況 2. 新クリーンセンター建設に係る協議・調整経過
建設産業	11月6日	報告：1. 精華町特別用途地区の研究開発地区内における建築物の制限の見直し 2. 相楽都市計画下水道の変更

☆委員会・会派研修の報告（学んできました 今後に生かします。）

常任委員会・会派	開催日	場所	目的	感想・今後の取り組み
総務教育	10月22日	東大阪市役所	東大阪市の指定管理者制度	<ul style="list-style-type: none"> ●公募・非公募、特定団体・民間団体など施設の機能や特徴によつての指定管理導入にあつての基準など明確にされている。 ●指定管理移行後「運用委員会」で適正な評価が行なわれ改善が図られている。
	11月14日～15日	①愛知県 田原市立図書館 ②愛知県 犬山市民活動支援センター	①市立図書館の役割や運営状況、学校図書館とのかわり等 ②市民参画の実質化方策や市民活動支援システムの状況等	①財政力の違いはあるものの、市民の文化を支える図書館への理解は深く雑誌類は400タイトルなど市民の多様な文化要望に対応している。 ②活動拠点を市が確保し、いくつかの事業委託をすることで、住民の知恵と力を引き出すきっかけづくりとなっている。「子ども大学」などの展開は、行政主導では困難であり、住民要求とも合致し多数の参加者を得ている。
建設産業	11月2日	城陽市役所	城陽市地下水条例の経緯、内容の説明	山城盆地の地下には琵琶湖に匹敵する約211億トンの地下水がある。本町も詳細に調査し、将来のため適正使用の条例を早急に検討していくべきである。
議会運営	11月7日～8日	①長野県 飯田市議会 ②岐阜県 多治見市議会	①議会報告会の取り組みと政策づくり ②議会活性化の取り組みと市民対話集会	①本町との違いは「自治基本条例」を策定している点である。地域ごとの丁寧な説明や「市民会議」の設置など市民参加につながっている。 ②議会報告でなく「対話集会」とし、市民の声を聞くことを主眼としている。住民の意見を集約整理して議会として政策形成につなげる。事務局体制の充実も併せて検討する必要がある。

会派研修／広域議会の報告

常任委員会・会派	開催日	場 所	目 的	感想・今後の取り組み
精 政 会	10月9日 ～10日	全国市町村国 際文化研修所 (滋賀県大津市)	大局的な知見の向上 に資するテーマに関 して、集中講義を受 け地方行政を取り巻 く諸課題についての 考え方を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ●道州制は、もう少し慎重にメリット・デ メリットを精査する必要がある。 ●「お金がない」「前例がない」「制度がない」 「だからできない」「泣き言は言わない」 が禁句、どの取り組みにも必要と痛感し た。
住 民 派 の 会	10月28日 ～29日	①熊本県 宇土市議会 ②長崎県 諫早市議会	①子育て支援 ②高齢者見守り事業	<p>①本町でも要望がある早朝・夜間就労の人 を対象にした「早朝・夜間保育園」の新 設が必要ではないか。</p> <p>②諫早市は地域住民だけでなく民間企業と の連携に力を入れている。郵便、電力、 ガス、介護事業者など、関係機関（社会 福祉協議会、地域包括支援センター等） と連携、情報共有を図り見守ることが重 要である。</p>
民 主 党	10月24日	琵琶湖環境 ビジネスメッセ 2012年 (長浜ドーム)	新たな環境技術や製 品の見学と「原発に 頼らないエネルギー 政策」の講義受講	エコ・省エネ製品の普及、省エネ投資の促 進に力を入れていかなければならない。本 町においても太陽光発電などさらなる補助 金の検討を願う。
愛 精 会	10月29日 ～30日	①富山型福祉 サービス 「なごなるの家」 ②富山県 高岡市役所	①富山型デイサービ スの実態 ②地域防災計画	<p>①本町も小規模多機能施設や障がい者支援 のグループを古民家の空き家利用で一体 化を図り、連携した施設づくりが必要。 縦割り行政の見直しも必要と考える。</p> <p>②高岡市では、福祉施設 29ヶ所（内私企 業 20ヶ所）であり、市内全体に均等配 置を考えているが、当町では、町西部に 偏り過ぎている。木津川水害を想定すれ ばもっと均等分布が必要と考える。</p>

☆広域議会報告

広 域 議 会	開催日	場 所	主 な 議 題
相楽郡広域事務組合 議会	11月19日	大谷処理場会議室	23年度一般会計決算認定 【全員一致認定】
相楽郡西部塵埃処理 組合議会	11月27日	打越台環境センター	23年度一般会計決算認定 【全員一致認定】

その後を追う

議会だより 135 号より
(H24.2.1 発行)

どこまで進んだの!?

自家発電システムのない避難所の準備は整ったのか

その時の答  精華町交通安全灯管理協会と災害時応援協定に関する協議・調整を進め、また配線状況調査や非常電源の緊急確保・給電容量について調査・準備をしている。

その後現在は …… 平成 24 年 8 月の町防災訓練において、精華町交通安全灯管理協会の協力のもと、初めて大型発電機の設置運用訓練に取り組み、非常電源の確保や給電容量などの実証を行いました。今後も各小学校区で実施する町防災訓練などの機会を通じて、非常電源の確保方策の調査・検証を進めていきます。 (危機管理室)

祝園駅東西連絡通路の掲示板の活用を

その時の答  公共の掲示板であり、広く公平に活用してもらうためにも、管理・利用の明確な基準を作っていく。

その後現在は …… 祝園駅東西連絡通路掲示板の管理については、掲示板の利用に関する基準を作成し、平成 24 年 4 月から試行的に運用を実施しています。今後においても、住民の皆様に広く活用していただけるよう適切な管理に努めていきます。(建設課)

空き家管理の相談窓口を

その時の答  消防を中心に、関係各課が連携して動ける体制を整えていく。

その後現在は …… 消防を窓口として相談窓口のワンストップ化を図っています。現在までに数件の問い合わせなどがありました。相談の内容が多岐に渡っているため、役場などの関係各課に広く連携を求めるほか、必要な場合には解決に向けての連携会議を開催しています。また、常に情報の共有化を図り、最新の情報で相談ニーズに答えられる体制をとっています。(消防本部)

お知らせ

■次回(平成 25 年第 1 回)定例会は、3 月 1 日(金)からはじまります。

次回の定例会に請願・陳情・要望書の提出をされる方は平成 25 年 2 月 20 日(水)午後 5 時までに、精華町議会事務局(町役場 6 階)へ提出してください。

「あなたも議会を傍聴してみませんか」

日程については、議会事務局へお問い合わせください。TEL: 95-1908 FAX: 95-3972

■議会だより・会議録が精華町議会ホームページより検索できます。

<メールアドレス> gikai@town.seika.kyoto.jp <ホームページ> <http://seikagikai.town.seika.kyoto.jp/>

街をつくる人

60

乾谷らくらくサロン

いつまでも元気で仲良く



「らくらくサロン」は、高齢者が地域住民と近くの集会所などで、気楽に、無理なく、楽しく、自由に集い、それぞれ興味や関心に合わせた活動をしたり、一緒にお茶を飲んだり、食事をする事により、楽しいひとときを過ごす仲間づくりの活動の場です。

参加者をつのり、ボランティア
「らくらくサロン」は、高齢者が地域住民と近くの集会所などで、気楽に、無理なく、楽しく、自由に集い、それぞれ興味や関心に合わせた活動をしたり、一緒にお茶を飲んだり、食事をする事により、楽しいひとときを過ごす仲間づくりの活動の場です。

例えば、
昨年12月の
サロンは、
ハンドベル
の演奏を聴
かせていた
だき、私た
ちもハンド
ベルをお借
りして、ジ
ングルベル
の曲をみな
で演奏させ
てもらいま
した。ハン
ドベルとは
音階に合っ
たベルを、



押し出すようにして音を出
します。それが難しく、み
な必死で音を出し、演奏者
の仲間にさせてもらいまし
た。

また、毎年10月を「お出
かけサロン」の月としてい
ます。昨年10月には、町の
バスふれあい号で、近鉄榛
原駅近くの常設芝居、やま
と座へ行きました。参加さ
れた皆さんから懐かしかつ
た喜び、企画した甲斐
がありました。

そして、集会所でサロン

を開くときには、いつも最初
に、会員の一人が作詞をした、
らくらくサロンの歌「らく
らくソング」を全員が歌っ
ています。そのほかに、講演
を聞いたり、軽体操や指体操
なども賑やかに楽しんでいま
す。

最後に、「らくらくソング」
の1番を紹介します。

あなたとわたしは
サロンのなかま
同じ乾谷の庭に咲く
咲いた花なら
いついっまでも
明るく 楽しく
過ごしましょう



ふれあい号にて

ギャラリー

Gallery Hana

華

精華西中学校
生徒の作品



「四つの漢字に想いをこめて」

ないとう あやの
1年 内藤文乃さん



たなか ゆうか
「文字絵」2年 田中佑佳さん



「スケッチをもとにした切り絵」

ふたわりり まさき
2年 二渡正樹くん



「第11回未成年者飲酒防止ポスター」

みやき なお
3年 宮木奈緒さん

編集後記

昨年8月に記録的な豪雨があり、被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。

防災、減災をはかるため行政とともに継続して取り組み、安心・

安全な暮しやすい町を築いてまいります。

今回の議会では「町立体育施設の指定管理者の指定」の案件など、慎重審議しました。

身近な情報紙として「議会だより」をご愛読下されれば幸いです。

広報常任委員会

坪井 久行・三原 和久・和田貴美子
安宅 吉昭・塩井 幹雄・今方 晴美
宮崎 睦子

議会事務局

TEL : 0774-95-1908
FAX : 0774-95-3972

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

発行/精華町議会 編集/広報常任委員会
〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南福八妻小字北尻 70 TEL.0774-95-1908・FAX.0774-95-3972
印刷/西本印刷株式会社